

宮城県立精神医療センターです。

◎私たちの施設の特徴◎

- ・当センターは、精神衛生法（現精神保健福祉法）の規定に基づき昭和32年4月に精神科単科の県立病院として名取市に開設されました。
- ・入院病床数258床（うち結核合併病床2床）で、精神科、児童精神科、歯科（入院者対象）の診療科目があります。また、当センターには精神科救急入院料基準病棟が2つあり、急性期の集中的なケアを行っています。
- ・リハビリテーション科は、作業療法士、看護師、保健師、臨床心理士、精神保健福祉士等、多職種で構成されており、入院している方には精神科作業療法（集団・個別）・退院前訪問、外来通院している方には精神科デイケア・精神科作業療法（個別）を行っています。
- ・OT（作業療法）サロンでは、毎日30名ほどの利用者さんが楽しい雰囲気の中で個々の目的、目標に合わせて手工芸、音楽鑑賞、ゲーム、絵画等の活動に取り組んでいます。
- ・訪問看護ステーションゆとりにも作業療法士が1名おり、看護師等他職種と共に訪問看護の場面でもリハビリテーションを実施しています。



センター外観



OT（作業療法）サロン

共同作品コーナー

<リハビリテーションに関する連絡先>

宮城県立精神医療センター

住所：〒981-1231 名取市手倉田字山無番地

電話：022-384-2236 / ファクシミリ：022-384-9161

岩沼
地区

リハビリネットワーク通信

第13号

(平成30年2月発行)

発行元：
宮城県仙台保健福祉事務所
健康づくり支援班
022-363-5503（直通）

Qにお答えします

Q. デイケアの活動の中で工夫していることを教えてください。

(宮城県子ども総合センター)

A. デイケアでの工夫としては、利用者さん個人の目的、目標を大切に、集団プログラムの他、個別支援にも力を入れています。利用してすぐに集団に入ることが難しい方も少なくないため、スタッフが個別で関わりながら、スタッフとの関係性を軸に目標に向かって活動できるよう支援しています。

バトンでつなごう

一問一答 ~紹介リレー~



次回：静和園さんへバトンタッチ

●質問コーナー●

Q. 他職種との連携で工夫していることを教えてください。

「OTさんとの語らいも また癒し」（入院利用者様）
オーティ
 「解説」OT（作業療法）は作業をするところだけでも、みんなと話をすることも精神的な癒しになりました。

「サロンから 見える素敵を 雪化粧」（訪問利用者様）
 「解説」入院していた時は作業と雪に癒され、外来になった今は「雪はちよつとな…」と感じています。

「人が好き そう言うあなたが 大好きです」（作業療法士）
 「解説」OT（作業療法）利用者さんから「人が好きだから（この仕事）できるのね」と言われたときに、感じた気持ちです。

リハビリ川柳